

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ  
～2020年4月6日(月) 17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

## 1 サンパウロ州

### 4月4日(土)～6日(月)発表

- 6日(日) 17時現在、州内の感染者は4861人(前日4620人)、死者は304人(同275人)。うちサンパウロ市内が244人、グアルーリョス市内が6人と続く。60歳以上の死者は262人(同236人)。感染が確認されたのは州内計107市(同99市)に増えており、影響は州全域に広がっている。
- 6日(月)、サンパウロ州政府は、外出自粛措置(クアレンテーナ)を4月8日(水)から22日(水)まで15日間延長。内容は現在と同様の措置だが、状況に応じてより厳しい措置を講じる可能性有り。
- 6日(月)、サンパウロ市は、市内で不要不急の商業活動が行われないかを監視するため2千人の監視員が巡回している、違反者は罰金が課されている訳ではなく、営業許可を剥奪し、営業停止としている旨説明。
- 6日(月)、サンパウロ市は、サンパウロ市立病院では集中治療用に900床、軽症者用に2100床を準備しているが、週末(4～5日)に患者数が増加し始めたと説明。6日(月)に患者を受入れ始めるパカエンブー競技場の野営(仮設)病院の病床は7日(火)までに25%が埋まる見込み。
- 6日(月)、サンパウロ州政府は、企業関係者と第3回目となる会合を開催し、計60の企業から2億1千800万リアルが寄付されたと発表。また、これまで講じている社会的隔離政策は奏功していると説明。
- 6日(月)、サンパウロ市は市内バスを更に増便、運行本数は通常時の約50%に。
- 6日(月)、サンパウロ市は各種市税の納付期限を延長と発表。社会的・経済的マイナス影響を抑えるため。
- 6日(月)、サンパウロ市は近々、市内約100か所の公共時計パネルを活用し、外出自粛を呼び掛ける案内を開始。言語はポルトガル語、英語、スペイン語、日本語及び中国語。
- 4日(土)、州政府は外出自粛措置中、弁護士・会計事務所の内部的な業務(対面での顧客対応なし)や自動車修理店等の営業は継続可能と改めて説明。
- 4日(土)、州政府はボツカツ市内のクリニカス病院が今後4か間に約2万件の新型コロナウイルス検査を実施すると発表。重症の入院患者や風邪の症状が見られる医療従事者を優先する。
- 4日(土)、州政府は州立技術専門学校(ETEC)の看護技術コースの教員及び学生が、バウルー市やマタン市など州内各地でインフルエンザワクチン接種のための巡回医療を実施中と発表。既に千人以上が恩恵を受ける。

## 2 マット・グロッソ州

### 4月3日(金)～6日(月)発表

- 6日(月) 17時現在、州内の感染者は76人(前日60人)、うち13人が入院。死者は1人。
- 4日(土)、同州政府は中国から医療防護服や医療機材を購入したと発表。現在、上海からの輸送手続き中。
- 4日(土)、州都クイアバ市は、新型コロナウイルス感染防止に関する政令発表。6日(月)～5月10日(日)は保育園や学校を休校、市公務員はテレワーク継続。6日(月)～4月21日(火)はショッピングセンター、レストラン、バー、ジム、フェイラ等の営業を停止。但しスーパーは必要な衛生措置を講じて毎日営業。
- 3日(金)、同州政府は伯保健省より抗マラリア薬のクロロキン3千錠を受け取ったと発表。新型コロナウイルスの重症入院患者に投与される予定。

## 3 マット・グロッソ・ド・スル州

### 4月4日(土)～6日(月)発表

- 6日(月) 17時現在、州内の感染者は66人(前日65人)、感染疑いは63人(同55人)。死者は2人目を確認。新たに亡くなったのはバタイポラン市在住の66歳女性で、高血圧と糖尿病を患っていた。
- 4日(土)、州都カンポ・グランデ市は、6日(月)より、小売業やサービス業の大部分の商業活動を再開させると発表。必要な感染対策を講じつつ、時間を9時～16時30分などと短縮して営業。(了)